

地デザ 日誌

地域と関わる準備運動!

やりたいことをかたちにして、あたらしい地域の支え合いのかたちを作る「地域デザインの学校」プロジェクト。西長住の受講生は20~80代まで、アーティストや地域の活動者、公務員や先生、社長、大学生などなど、かなりバラエティに富んだ方々が参加されています。またそれぞれに地域への思いを持った熱心な方ばかり。講座は毎回10時~15時までとなかなか長丁場ですが、こゆーい内容と白熱するメンバーの掛け合いによって、あっという間に一日が過ぎていきます。

先日行った第1回講座では、他地域での事例をもとに地デザの目指す活動のかたちを共有しました。ふりかえりやお昼ごはん、相互インタビューを通して情報交換しながら、自分たちの住む西長住ではどんなことが出来そうか?どんな課題があるか?さっそく話に花が咲いていました。

続く第2回では、これから地域に関わる際の「対話の場づくり」の仕方、課題と解決策の考え方を、ワークを通じて体験!

試行錯誤しながらも、次回はいよいよ地域の方へインタビューに出かけ、地域に関わる第一歩を踏み出します。これからそれぞれの「やりたいこと」がどんなふうにかたちになっていくのか、とても楽しみです!



冷泉荘 プロデュース スペースRデザインの レトロビルこぼなし

木造戸建てワーク&シェアハウス 「茶山ゴゴ」誕生です

秋分の日も過ぎ、虫の音などを聞くと本格的に秋の訪れを感じますね。とても過ごしやすいこの季節だからこそ、夜外に出てお月見会なんてこともできるのでしょうか。

さて、これまでスペースRデザインは主に鉄筋コンクリート造のマンションのリノベーションを行ってききましたが、このたび築45年以上の木造戸建てを

リノベーションするプロジェクトがはじまっています!その名も木造戸建てワーク&シェアハウス「茶山ゴゴ」。9月中旬にリノベーション工事が終了し、現在入居者さん募集中です。茶山ゴゴは1階がシェアハウス、2階がオフィス・アトリエという複合型の建物です。

もともと1家族が暮らしていた家から、それぞれ生まれや背景の異なる5組が暮らす家になる。茶山ゴゴという名前は、それを不思議だなどと感じた感覚からつけたもの。1つ屋根の下にこれからどんな方々が入れられるのでしょうか。すてきな縁がありますように。

「茶山ゴゴ」情報ページ

>> <http://www.space-r.net/rent/chayamagogo>

梶原あき (株式会社スペースRデザイン / もちつき課)



SUKUYAKA ~ OHANA たちへ
ナブア発
4号



チャクラをご存知ですか?チャクラは何かと言うと、人体のエネルギーセンターを指します。古代のインドで使われていたサンスクリット語で「光の輪」「回転する渦」と言う意味です。エネルギーが扇風機のように渦を巻きながらクルクル回っているようです。そのスイッチは強でもよくないし、弱でもよくない。ちょうど良い状態を保たなくてはなりません。

私は、このチャクラの回転が強くなった経験があります。胸のチャクラです。第4チャクラ、アナハタチャクラ、別名愛のチャクラとも言われます。愛されるよりも愛を与える、感情のチャクラです。2005年ハワイでヨガの勉強をしていた頃、突然起こりました。

子供のようにヒックヒックと嗚咽を含む大泣きでした。それは悲しいからではなく、辛いからでもなく、ただただ感情が抑えきれず、勝手に溢れてき

たからです。その時に行った、バックバンド系(反り系)のヨガを学んでいた後、シャバアーサナー(屍のポーズ)で横になった途端タガが外れたように起こったのです。その頃Hawaiiでゆったり一人暮らしを堪能し、ただただヨガを学ぶことだけ、日常生活から解放されて自然の大地と戯れ、メールや電話も使用しなかった1か月半の間、自分が誰で、どのような仕事をしていると、年齢も性別も社会での立場も、その時抱えていた悩みまでも忘れて、今ここで生きているということだけの確認があったのだとおもいます。ただの自分があるだけ、全てから解放された無になれる自分があるだけ。

自分を守るために、傷つかないためにまどっていたものも剥がれ、心が素裸になった時、心が解放されたのでしょうか?私が持っているものすべてが無意味に思えてきました。どんな怒りも、励ましも、仲間の声もすべて心が震え、ただ泣くしかない自分に対してパニックになったけど、私のグル(ヨガの師匠)「これはチャクラが開化し過ぎちゃったのね、バランスが崩れてしまったからなのよと教えてくれました。胸のチャクラがopenになりすぎたのですね。かたくなだった自分の勝手な思いと常識が、私をガチガチに固めていたのです。そのタガが外れた時に、帰国後私は、悩みの原因を断ち切り、素直になり、一人になる決意をして、ここにきました。可笑しいもので、全く予想しなかった展開は、ここ冷泉荘を見つけた瞬間に始まりました。まさか私がヨガのスタジオオーナーになるうとは(笑)。

偶然見つけた冷泉荘は、今は私の宝物になりました。私の夢の実現を導いてくれる場所です。今年6月にナブアをopenしたのも、杉山さんから「先月空いたんですよ〜」と何気ない言われた言葉で即決。胸のチャクラは私にとって感覚を敏感にさせるセンサーなのかもしれません。どうやら、カンが働く、嗅ぎ分ける力が付いたようです。

日本ヘッドセラピーマスター協会認定セラピスト ナブア代表 高橋ひとよ

カントク伊藤の 巨匠への道。 道の六

冷泉荘内のシェアオフィス・引力の間に入居中のカントク伊藤です。新作映画「人情噺の福園治」制作中(来年全国公開予定)。前作「まちや紳士録」のDVDが紀伊國屋書店より発売中。さあ今月のDVDはコチラ!



インヒアレント・ヴァイス / 発売元: ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント

映画評論家の淀川長治さんが「一本の映画を10回以上観たら誰でも映画監督になれる」と言っていたらしい。自分の好きな映画をじっくり観ることで、自ずと演出のことが頭に入り、監督の視点に身に付くのだそう。だからというわけではないが、僕は学生時代にある映画を、10回といわず50回以上は観た。その映画の監督、ポール・トーマス・アンダーソンの現時点での最新作がこの「インヒアレント・ヴァイス」だ。

ポール・トーマス・アンダーソン(以下、PTA)は現在45歳。七本の映画を撮っている。すべてが傑作というわけではないが、僕が50回以上観た映画含め、どれも一筋縄ではいかない、観るに値する気骨ある作品ばかりだ。基本的に誰かに憧れるといったことはないのだが、唯一の例外がPTAで、自分より9歳上のこの監督の才能、センス、実力に学生時代の僕は嫉妬し、そして憧れた。

「僕は映画をロックのアルバムみたいに作りたいんだよ」

大きなロケ隊で撮るより、ロックバンドがセッションするように映画を撮影したい...スピルバーグが認め、トム・クルーズも破格のギャラで出演するPTA作品だが、PTA自身は一貫してインディペンデントな精神を作品でもその製作過程でも体現している。そして、彼の映画には人間に対するシニカルさと、それをちょっぴり上回る優しさがある。僕がやりたかったことを全部、それも素晴らしい形で先にやってるPTAに嫉妬したし、憧れもしたんだ。「インヒアレント・ヴァイス」も良かった。でももう嫉妬や憧れはない。なぜなら僕も監督になっちゃったから、なった以上は同じ土俵だからね。どうか、プレずに先を走り続けてくれ。追い抜くからさ。

伊藤有紀 (映画監督/日本映画監督協会会員)
<http://officearigato.com/>

お酒: 桂花陳酒のお湯割り
BGM: 相川 理沙「キンモクセイ」

サンダーレンズ Thunder Lens*

イベント終了後のサンダーさんです。細かいゴミやビール缶をしっかりと水洗いしながら会場の片付けをしている裏側の風景もまたパステルカラーの気持ちのいい写真になりました。見えないところでもこの笑顔がふりまいてくれる疲れを知らないタフな男らしさも帽子の合間からにじみ出ているようです。主婦的には、指輪のまま洗い物は邪魔にならないのかな?と気になるところ。今度聞いてみます。

撮影: 雨宮康子



酒民党员でもある、まちづくり屋さんにも聞くと!

まち in 酒話

キンモクセイでお酒を

すっかり秋ですね。キンモクセイの甘くせつない香りがまちに溢れると夏が過ぎた事を感じます。キンモクセイは漢字で金木犀と書きますが、木の犀(サイ)と書くのは木の表面が動物のサイのようだからです。中国では桂花と言ひ、月の中に大木があるという伝説があります。キンモクセイを歌った詩に明代最高の詩人とされる高啓の「題桂花美人」があります。音楽と酒で、月の光に照らされる花とその香りを楽しむ様を歌っています。

